

R 7 磐周児童生徒理科研究作品審査会について

磐周児童生徒理科研究作品審査会へのご協力ありがとうございました。

磐周児童生徒理科研究作品の審査会を通して、成果と今後の課題をまとめましたので、今後の指導の参考にしてください。

課題

- ・ 児童に研究前に金賞作品などを見せられたら、質の高い作品がより集まったのではないかと感じた。上位作品と下位作品の差が大きい。課題の発見→課題の追求→課題の解決という問題解決・探究の過程を意識した作品を増やしていきたい。
- ・ デジタル作品の方が見やすく、審査がしやすいので、あらかじめ各校にデジタル版の原稿用紙のような型を送っておくと、よりデジタルで作成する生徒が増えるのではないかと考えた。
- ・ 下位の作品の中には、主に調べ学習として終わってしまっているものや、実験を行っているが考察がないものもあった。また、作品数が例年よりも少なく、出品数の減少が続くと、全体の質の低下につながることを懸念される。
- ・ 審査終了後に各方面に結果を送付したが、かなりの工数が必要であった。文書を一括化したり送付しなくて良いところを精査したりしたい。
- ・ 学生科学賞・山崎賞などの出品の送料などは、各学校の負担で良いのか。

大きな問題はなくできたと思います。ご協力ありがとうございました。